

ゆうゆう住宅仕様

- ①ゆうゆう住宅仕様は保険料が大幅割引
「住宅保証機構(株)の設計施工基準」と「全建総連自主基準」を満たした設計施工であれば、保険料が割引。
※全建総連自主基準…重要な柱(すみ柱等)は12cm角以上、基礎は鉄筋コンクリート造で地盤面から高さ40cm以上、など
- ②高品質な住宅として施主にアピール
太い柱、丈夫な基礎、床下の防湿、換気、小屋裏の換気と木造住宅の耐久性を高める対策を標準仕様に。
- ③組合が保険の手続きを完全サポート
組合の窓口では住宅保証機構(株)が認定した「保険募集人」の資格取得者が対応。

■一般的な保険料の例 (中小事業者コースの場合)
※2回分の現場検査料を含んだ金額です。
※保険料等は予告なく変更されることがあります。
(令和3年度)

住宅の床面積	保 険 料		
	一般住宅	ゆうゆう住宅	差 額
100㎡未満	63,680円	54,180円	9,500円
100㎡以上125㎡未満	70,410円	57,990円	12,420円
125㎡以上150㎡未満	83,940円	65,650円	18,290円
150㎡以上180㎡未満	93,070円	71,040円	22,030円

《ご利用にあたっての注意点》

- まもりすまい保険をご利用いただくには住宅保証機構(株)への「事業者届」申請が必要になります。(登録料:9,900円)
- 保険のお申込みは着工前までに手続きをしていただく必要があります。

高品質・高規格の「ゆうゆう住宅」は メリットがたくさん 組合で受付が可能

全建総連では、木造住宅の施工にあたって住宅保証機構(株)が運営する住宅瑕疵担保責任保険(まもりすまい保険)に対応した高耐久・高品質な木造住宅「ゆうゆう住宅仕様」の利用を推奨しています。全建総連福島ではこれまで、約800棟の利用があります。

ゆうゆう住宅は、①「住宅保証機構(株)の設計施工基準」と「全建総連自主基準」を満たした設計施工であ



基礎配筋完了検査を実施する団体検査員の山崎久夫さん(郡山建設組合)

ば住宅瑕疵担保責任保険料が割引、②太い柱、丈夫な基礎、床下の防湿、換気、小屋裏の換気と木造住宅の耐久性を高める対策を標準仕様とすることで高品質な住宅を提供、③住宅保証機構(株)が認定した「保険募集人」をほぼ全ての加盟組合の職員が取得しており、ゆうゆう住宅の利用申込みを組合で受付しサポートできる、など多くのメリットがあります。

また、実際にゆうゆう住宅の施工の際、第1回目の基礎配筋完了検査は、全建総連福島では県内各地の11人の団体検査員(全て組合員)が現場を訪問し、対応しています。

施工業者だけでなく第三者が検査することで、施工主へ施工業者の信用をアピールできます。

全建総連福島ではこれまでに約800棟の利用実績があり、全国の各県連組合と比較しても上位の利用実績となっています。

組合員の皆様へ

～県連共済における新型コロナウイルス感染症による令和4年9月26日以降の発生届に伴う給付金のご申請の取扱いについて～

日頃より所属組合並びに県連合会(福島県建設労働組合連合会)の運営にご理解ご協力をいただいておりますことに改めて御礼を申し上げます。

さて、県連合会におきましては、組合員の皆様を対象とした『県連共済』を運営しておりますが、新型コロナウイルス感染症への感染における給付金のご申請につきましては、県連合会機関紙『あぶくま』10月号に掲載いたしました『県連共済における新型コロナウイルス感染症による給付金のご申請の取扱いについて』に基づく内容となっておりますが、令和4年9月26日から新型コロナウイルス感染症の全数届出が終了し、発生届出の対象が限定されることとなり、各保険会社及び各共済団体において取り扱いが見直されました。

上記を踏まえ、令和4年9月26日以降に新型コロナウイルス感染症と診断された方の県連共済の申請につきましても、下記の発生届対象の方とすることといたしました。

制度内容につきましてご理解のほどをお願い申し上げますとともに、今後とも組合運営にお力添えのほどをお願い申し上げます。

■給付金ご申請の対象

- ① 65歳以上の方
- ② 入院を要する方
- ③ 重症化リスクがあり、新型コロナウイルス感染症の治療薬の投与または新型コロナウイルス感染症罹患による酸素投与が必要な方
- ④ 妊娠をしている方

※なお、医療機関に入院をされた場合は、引き続き給付金の支給対象となります。

この件に関するお問い合わせ：福島県建設労働組合連合会(全建総連福島)
住所：福島県安達郡大玉村玉井字北ノ内65-1
電話：0243-68-2121

会津

建築技術は日々アップデート 3DCADと インテリアデザインを学習

10月14日、全建総連会津は日建学院と共催で、会津若松市「稽古堂」で、3DCADとインテリアデザインの勉強会を開催しました。全建総連会津からの参加人数は2人でした。

昨今の住宅建設は資材や機器の価格高騰だけでなく、技術や技能の機械化が年々進化しています。従来場の建設職人が仕事を確保

組合員であれば利用できるサービスです。工務店を営営する組合員の方は利用しましょう。



新しい技術に関心を寄せる参加者

するには厳しい現状です。仕事確保に向けた勉強会をなんとか組合で開催したいと考え、この学習会を企画

しました。3DCADの学習会に参加者は「確認図面が作成できる」「技術面の

進歩は著しくとても感心した」と話していました。インテリアデザインについてはコーディネーターの2人からデザインに関する模擬提案があり、ピフオー!アフターを比較しながら、お客様に興味を持たれやすいレイアウトデザインについて学びました。

建築に関する技術の進歩とデザインの必要性を実感すると同時に、専門分野の方のアドバイスはとても貴重なものとなり、新しい技術を取り込む必要があることを痛感しました。

(会津理事長 本名幸吉)